

# 歯科保存学分野 入局希望のみなさんへ

Section of Operative Dentistry and Endodontology, Department of Odontology

保存科では、**できる限り歯を保存すること**をモットーに、各専門科の先生方と緊密に連携した一口腔単位の診療を行っています。

専門分野として、

1. **難治性根尖性歯周炎**(エンド治療を長期間行ったにもかかわらず、なかなか症状の改善が認められない症例)治療の充実
2. **CTとマイクロスコープを用いたエンド治療**の症例数の増加

を診療目標に掲げています。

診療室では、泉利雄准教授、松崎英津子講師を先頭に、難治症例に対して各種のニッケルチタンファイル、マイクロスコープ、超音波振動装置等、最新の治療装置を駆使したエンド治療を行っています。  
(教授 阿南 壽)

## 「歯科保存学分野」沿革

1974年(福岡歯科大学開学の翌年):初代教授 宮崎三雄先生  
「歯科保存学分野」の前身である「歯科保存学第1教室」を保存修復学担当講座として開設

1980年:第2代教授 井上 廣先生  
現在の歯内療法学と保存修復学を担当する講座となる

2006年から現在まで:第3代教授 阿南 壽先生  
歯の硬組織疾患及びその続発症である歯髄疾患を対象とする齶蝕学(保存修復学)と歯内療法学を担当

2015年度人員:教授1名, 准教授1名, 講師1名, 助教3名, 医員4名, 専攻生2名, 大学院生2名



ラバーダム防湿下での  
拡大鏡を用いたエンド治療



マイクロスコープを用いての  
エンド治療

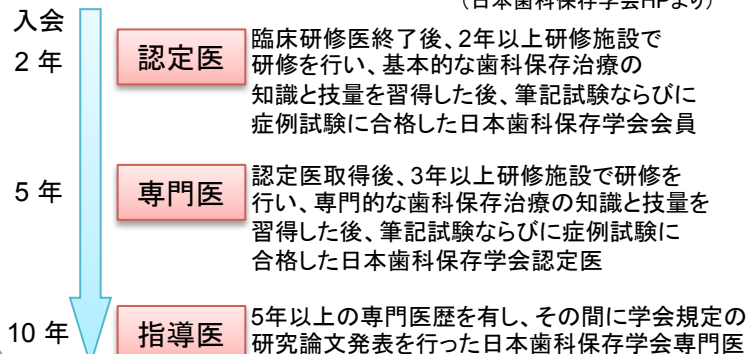
## 臨床について(認定医、専門医制度)

歯科保存学分野は、**日本歯科保存学会ならびに日本歯内療学会の研修施設**となっています。それぞれの学会の**認定医・専門医(下記参照)**を取得できます。  
臨床から研究へ、そして研究から臨床への応用を念頭に、医局員一同臨床に励んでいます。

### 歯科保存治療認定医、専門医制度について

#### 特定非営利活動法人 日本歯科保存学会 認定制度

(日本歯科保存学会HPより)



### 主な研究テーマ

- ① 根尖性歯周炎の破壊と治癒のメカニズムの解明
- ② Bioactive Glass の歯内治療学領域への応用
- ③ Sr 含有Bioactive Glass を組成とする骨補填材の開発
- ④ 脂質メディエーターを用いた象牙質および歯周組織再生療法の開発
- ⑤ 口腔粘膜上皮におけるメカノセンサーの発現と機能調節
- ⑥ 歯の発生におけるアメロジェニン・スプライシングバリエーションの発現解析
- ⑦ 重層扁平上皮癌に対する分化誘導療法の基礎的研究

入局希望者は、お気軽にご相談ください。(医局電話:092-801-0411 内線 631)

(文責:E.M)